

# なかのZERO メディア芸術プロジェクト イマーシブフルドームスクリーン メディア表現研究

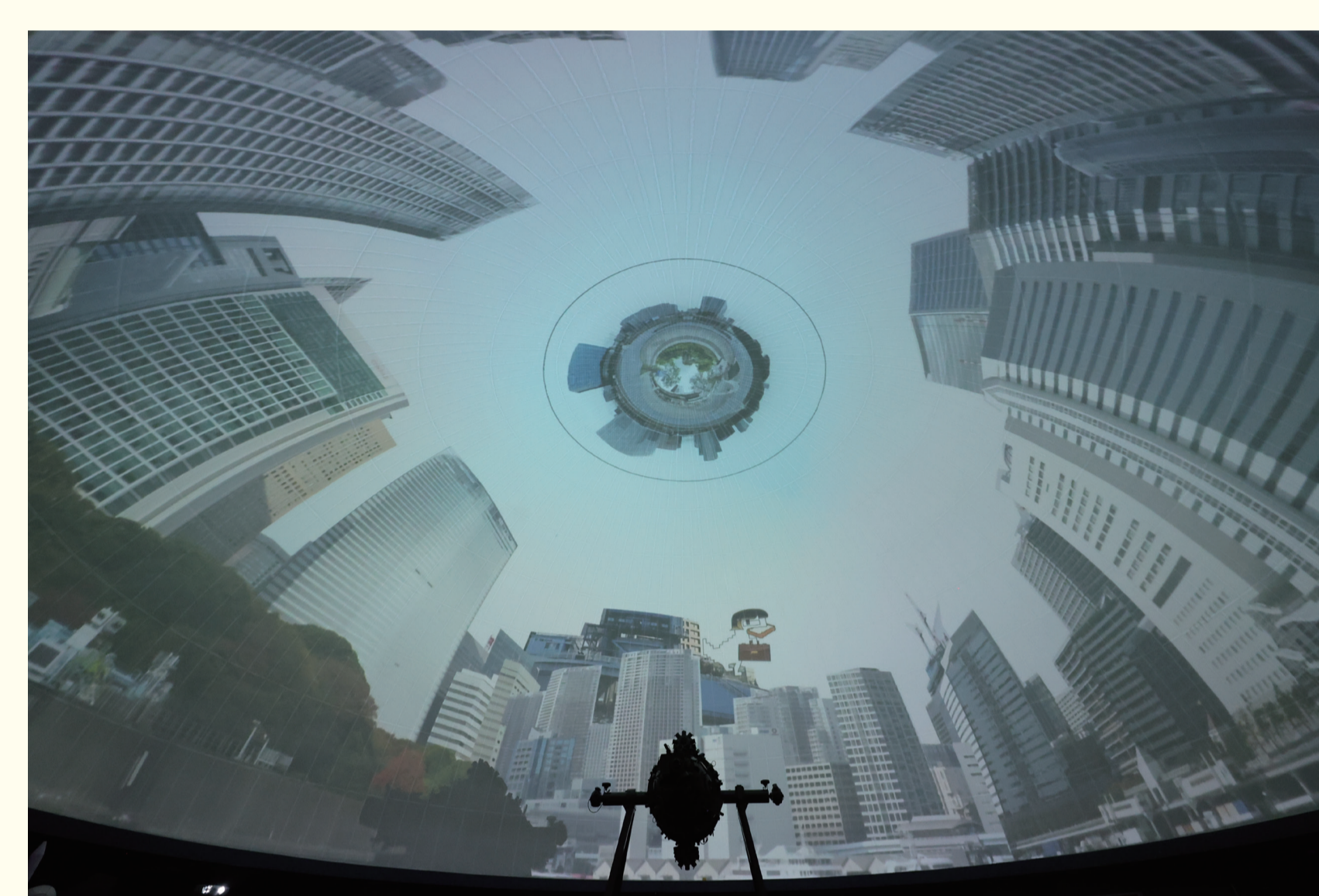
東京都中野区にある生涯学習施設「なかのZERO プラネタリウム」のドームスクリーンを活用した映像コンテンツの制作実習です。

大型ドームスクリーンは、平面では表現しきれない現実感や臨場感を生み出すことができますが、コンテンツや作品の投影機会が限られており、まだそのメディアが持つ可能性は十分に探求されていません。参加学生は本学教員の指導のもと、全天周映像や投影システムに関する基礎知識と映像制作技法を学び、個人またはグループで作品制作に取り組みました。上映会を通じて、プラネタリウム施設と全天周映像メディアが持つ文化・芸術的価値を発信することを目的としており、実際に地域の方々に発表する機会となりました。

- 新たな投影媒体への挑戦
- 映像表現の探究と実践
- プラネタリウムの上映プログラムとして発表



映像・写真コース シャルルゼミ、オウアカネさんの作品「SO WAS THE WORLD CREATED」



映像・写真コース 篠原ゼミ、ケイヨウさんの作品「恐竜都市散歩」



なかのZEROプラネタリウム施設の様子



## 連携先

なかのZERO  
株式会社オリハルコンテクノロジーズ



## 担当教員

大石啓明 (デザイン情報)  
山崎連基 (映像)



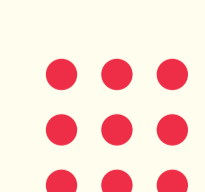
## 実施期間

2024年4月～9月



## 参加学生の学科

デザイン情報学科  
映像学科



## 参加学生人数

32人